

統合ソフトを活用した情報活用能力の育成例 【情報活用の実践力】 【情報の発信・伝達】

学 年	小学校 第3学年	時数	10時間
単元名	「読書クイズ」を出し合おう		
教科・領域	国 語		
使用ソフト	キューブプレゼン		
目 標	<p>本の内容を紹介するのに必要な情報を集め，クイズにとして発信することで，友達に本の内容を分かりやすく伝えたり，興味をもたせたりすることができる。</p>		
学習内容	<p>グループごとに本を選んで読み，本の内容を紹介できるような「読書クイズ」を考え作成する。お互いにクイズを出し合い，読書に対する興味・関心を高めることにつなげる。</p>		
1 時	<p>「読書クイズ」の内容や目的を理解する。 指導上の留意点 「読書クイズ」の内容や目的について，教科書を例として理解することができるようにする。</p>		
2 時	<p>グループごとに本を選び，読む。 指導上の留意点 細かいところまで注意して読み，クイズになるような場面を意識させるようにする。</p>		
3 5 時	<p>「読書クイズ」必要な情報を話し合い，情報をカードにまとめる。 指導上の留意点 あらすじ，登場人物，作者など，いろいろな観点から，本を紹介するのに必要な情報を話し合うようにする。必要な情報は見出しを付け，カードにまとめるようにする。</p>		
6 8 時	<p>「読書クイズ」をつくる。 指導上の留意点 カードにまとめた情報を基に，紹介する本のおもしろさが伝わるようなクイズを考えさせるようにする。図や絵などを使って，想像したり，考えたりすることが容易になるような資料を作らせるようにする。</p>		
9 10 時	<p>「読書クイズ」を行う。 指導上の留意点 グループごとにクイズを出し合った後，クイズの答えが考えやすい，本の内容がよく分かったかなどについて相互評価させるようにする。また，クイズを聞いて読みたくなった本についても記録させるようにする。</p>		
評価方法について			
<p>必要な情報が集められたかどうか，児童がまとめたカードやクイズの画面からつかむ。 本の内容を分かりやすく紹介するためのクイズになっているか，クイズの画面や相互評価の内容からつかむ。</p>			